



高橋正光・ガバナー
2020-2021年度R1会長

Rotary 

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2840
TAKASAKI SYMPHONY ROTARY CLUB
Symphony Weekly



No. 5

会長/President 高橋 正 光
幹事/Secretary 齋 藤 達 雄
クラブ会報委員長/Committee Man of Weekly Report 大久保 伊津美
第 3 週 2020年8月21日(金)
例 会 毎週金曜日
点 鐘 12時30分

例 会 場 ホワイトイン高崎

事務所/Office

高崎市本町144-1 光明第7ビル202号室

T E L 027-328-3371

F A X 027-328-3372

<http://www.takasakisymphony-rc.org>

E-mail:sym@po.wind.ne.jp

事務局員/Office worker 浅見 洋子

本日のプログラム 会員卓話

君島准逸ガバナー補佐

手に手つないで

ロータリーソング

第1091回例会報告

第1週 8月7日(水) 会場: ホワイトイン高崎

会長の日 高橋正光会長

クラブ協議会 創立25周年実行委員会分科会



御来訪者/Visitor 1名

米山奨学生 梁 綺桐さん

出 席 報 告

会 員 数	49名
出席計算人数	45名
本日出席者	38名
本日出席率	86.36%
先々週出席率	休 会

幹事報告/Secretary Report

- ・ガバナー月信(テーブル毎)
- ・神戸東灘RC週報
- ・Rotary Club of Wahiawa-Waiialua週報
- ・国際ソロプチミスト高崎 ご挨拶・会報20号
- ・ガバナー事務所夏季休暇のお知らせ
- ・例会変更

- ・県民音楽のひろば「群馬交響楽団演奏会」のご案内
- ・群馬交響楽団定期演奏会賛助会回数券予約について

新入会員入会式

山崎 新太郎君

福田夕紀子君



米山奨学会奨学金(8月分)授与

米山奨学生

梁 綺桐様



委員会報告/Committee Report

- ・会員誕生日祝
堀口 芳明君
小林 馨君
発地富士雄君



- ・配偶者誕生日祝
手島 均君
飯島 芳臣君
- ・結婚記念日祝
船渡川信幸君
泉 省平君

佐藤 昭一君 阿久澤 公君



ニコニコBOX/Donator Niconico Box

- 白石 隆夫君(新会員入会を祝って)
- 高橋 正光君(")
- 泉 省平君(")
- 三村 浩司君(")
- 山崎新太郎君(入会させていただいて感謝)
- 堀口 芳明君(会員誕生日祝)
- 手島 均君(配偶者誕生日祝)



阿久澤 公君 (配偶者誕生日祝)
 飯島 芳臣君 (//)
 船渡川信幸君 (結婚記念日祝)
 泉 省平君 (//)

ロータリー財団BOX / Donator Rotary Foundation

白石 隆夫君 高橋 正光君 柴崎 晟君
 長井 典夫君 浦野 幸男君 三浦 敦朗君
 池田 貴明君 君島 准逸君

米山奨学会BOX / Donator Yoneyama Scholarship

齋藤 達雄君 柴崎 晟君 横山 正男君
 八木建司朗君 西野 宏君 三浦 敦朗君

広報委員会 (ロータリーの友8月号記事紹介)

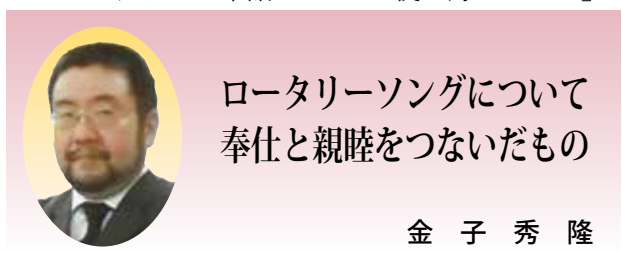
理事会報告 / Board of Directors (Report)

2020年8月7日

- ・地区より依頼「熊本地域豪雨災害義捐金」の件 (支出会計・金額)
ニコニコBOXより支出で500円×人数分で可決承認
- ・2021-2022年度地区補助金事業計画 (案) について
児童養護施設フランシスコの町へ総額30万円の物品寄贈の案で可決承認
- ・8月21日例会卓話の件
君島ガバナー補佐の卓話で可決承認
- ・8月28日例会の内容変更の件
新型コロナ感染拡大の為、夜間例会を通常例会とする。会場はホワイトイン、お弁当はサンフラワーで手配することになりました。
- ・Web会議実施のための具体的な今後の展開について
高崎北クラブがズーム例会を開催するので、その例会をみてから今後の展開を打ち合わせ
- ・趣味の会 (中国語会話サークル) 設立申請の件 (豊泉パスト会長より)
可決承認されました。
- ・クラブバナー作成について
作成する事で可決承認されましたが、見積もりをとりデザインについては継続審議
- ・会員名簿作成の件 継続審議
- ・次期幹事は安藤理事で可決承認
- ・新型コロナで休会中の会員の会費については継続審議となりました。

次回例会予定

8月28日 (金) 12:30点鐘
 通常例会 於ホワイトイン高崎
 プログラム：卓話「Zoomの使い方について」



**ロータリーソングについて
奉仕と親睦をつないだもの**

金子 秀 隆

1905年ポールハリス等4人によってシカゴにロータリークラブが創設されました。当初は異業種

の相互扶助が目的でした。当時のシカゴの商業道徳は、「騙されるほうが悪いんだ」というすさんだものでした。ですから「相互扶助」は必要なものだったのでしょうか。

1906年ドナルドカーターが「仲間内だけ良い思いをするような会ではいけない」と言う批判をしつつ入会します。ポールハリスは、この批判を是としクラブの改革を考えるようになります。奉仕の概念の導入です。しかしこれがクラブ混乱の原因にもなりました。

相互扶助 (商売) のために参加している会員にとっては、「みんな仲良く金持ちになろう」と言う立場であり、奉仕活動に興味がありません。それが多数派でもありました。彼らと創立者ポールハリスは対立することになったのです。彼らは親睦互惠派といえます。

例会もこの対立によって殺伐としたものとなりました。そこに5番目の入会者であったハリーラグスが「皆で歌を歌おう」と立ち上がりました。これによって雰囲気が和み、ロータリーソングの伝統が始まったとされています。

さて、次に日本におけるロータリーソングはどうなっていたのでしょうか？最初は英語で歌っていたそうです。東京RC創立から10年後の1930 (昭和5) 年、70地区第2回年次大会において、日本語のロータリーソングを作ることが提案されました。

1935 (昭和10) 年の70地区第7回年次大会において新作の日本語のロータリーソングが発表されました。ここで表彰された4作品のうち「奉仕の理想」と「我等の生業」は、今でも歌い継がれています。

「奉仕の理想」の歌詞に「御国に捧げん」とありますが、本来は「世界に捧げん」だったそうです。これは村田ガバナー (当時) が時局を鑑み「御国に捧げん」に差し替えたのだそうです。例会に国旗国歌を取り入れ、国粋化する社会に対応しようと思いました。

国内のRCは1940 (昭和15) 年RIを離脱していましたが、戦後1949 (昭和24) 年RIに復帰することになりました。日本全体で第60地区が割り振られます。1952 (昭和27) 年7月に地区分割となります。同年4月60地区最後の地区大会が大阪で行われました。

この時に新しいロータリーソングがお披露目されます。その中に「手に手つないで」がありました。地区が分かれても絆を忘れないという思いがあるそうです。作詞作曲は東京RC矢野一郎氏で、翌年には「どこであっても」を発表します。もっと親しみやすいものをとの要望に応え作成したそうです。

ロータリー小唄

(「蛍の光」の替歌：戦前東京RCで愛唱)
 廻れよ車よ日も夜もなく/国から国へとめぐりめぐる/
 尊き奉仕を夢忘れずに/身も世も益するロータリー/
 世界の平和と厚き情け/ともども手を取り集いあって/
 尊き業務に我を忘れ/身も世も益するロータリー